
歌わない鳥

闇夜ノ月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歌わない鳥

【Nコード】

N7077A

【作者名】

闇夜ノ月

【あらすじ】

歌を忘れた鳥が居ました…こんなフレーズが多く出てくる詩です。

歌を忘れた鳥が居ました
自分の声が大好きで
何時間でも歌う鳥です
歌う事が楽しくて
歌を生き甲斐にしました
ただ楽しくておかしくて
毎日歌を歌います

歌を忘れた鳥が居ました
毎日歌ったためなのか
鳥は喉を痛めます
綺麗な声が消えてしまい
しゃがれた声が出るばかり
それでも鳥は歌います
しゃがれた声で歌います
ただ楽しくておかしくて

歌を忘れた鳥が居ました
しゃがれた声で歌った鳥は
声が出なくなりました
それでも歌が大好きな鳥は
誰かが歌うと口を動かし
自ら歌っているかのように

ある日鳥は気付きます
自分を見る他の鳥の
迷惑そうなその視線

楽しく歌っていた鳥達が
楽しく歌うのを邪魔されて
歌を途中で止めてしまい
二度と歌わなくなつた事に
… 鳥はやつと気付きます

そうか私は……………

歌を忘れた鳥が居ました
唯一の楽しみと喜びを失い
ただ絶望にあけくれました
何もやる気になれなくて
どんどん弱つていきました
他の鳥達はその鳥を
嫌つて近よりすらしません

歌を忘れた鳥が居ました
歌おうとしても声が出ず
出るのは涙ばかりだけ
そのうち涙も出なくなり
鳥は地面に落ちました

歌を忘れた鳥が居ました
ただそこに居たかは知りません
居たという噂を聴いただけ

歌を忘れたその鳥は
何を思っていたのでしょうか

自分の居場所を見失い
悲しんでばかり居た鳥よ
自分の居場所を見付けずに
何もせず消えたあわれな鳥
惨めで愉快な鳥の死よ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7077a/>

歌わない鳥

2011年1月27日09時19分発行